

令和2年度7月分

市民生活・環境関係

件名	図書館について
内容	<p>猛暑の予報が出ているので、クールシェアの観点からも、平日月曜日と海の日開館を強く希望します。また、開館時間及び開館日の再アンケートを強く希望します。広報紙にアンケート用紙、回覧板にもアンケート用紙、学校にもアンケート用紙で、偏りの無い真の利用者アンケートを実施すべきだ。</p> <p>白井には、市内に娯楽、教養施設が無いので、葛飾区や大和市などの様に、年末年始開館、9時から10時まで開けるとか、市民に尽くすべきだ。</p>
回答	<p>市では、限られた予算・人員の中で公共施設のあり方を検討するため、また、今後の図書館運営について意見を伺うため、平成31年4月に図書館及びセンター図書室利用者と白井市 e モニター登録者を対象に図書館利用者アンケート調査を行いました。</p> <p>アンケート調査の主な内容は、図書館を利用する際に重視することや、夜間開館などの図書館運営について幅広い年齢層の方から御意見をいただきました。</p> <p>図書館の運営に当たっては、このアンケート結果を踏まえ、市役所内での検討、図書館協議会及び教育委員会議などにおいて審議した結果、現在の運用となっておりますので、改めてアンケート調査を行う予定はありません。</p> <p>また、月曜日及び年末年始の開館、9時から10時までの時間延長につきましては、今後の図書館運営の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、平成31年4月に実施したアンケート調査の詳しい内容と結果につきましては、図書館ホームページ内の図書館協議会のコーナーで公開しておりますので御覧ください。</p> <p>貴重な御意見ありがとうございました。 (関係課：図書館)</p>

件名	虫及び農薬について
内容	<p>虫が飛び回る白井市にするべきだ。梨の消毒が原因なのか。無農薬で、虫を取り戻そう。また、早朝の消毒作業等を止めさせて欲しい。</p>

<p>回 答</p>	<p>農家では、安定的な農業生産を目的として病害虫の被害を防止するため、必要な範囲で農薬散布を行っており、住宅に近接している農地では、農薬散布時に旗を掲げる、通学時間をさける、早朝に散布するなど注意を払っております。</p> <p>早朝に農薬を散布する理由としましては、洗濯物に農薬がかかってしまう、通行人に農薬がかかってしまうなどの影響があり、人の出入りが少ない時間帯に散布をお願いしているところです。</p> <p>どの時間帯に農薬の散布を行っても、農薬散布機の騒音等様々な場面において影響が出てしまうことが懸念されます。周辺住民の皆様には快適な生活を送っていただくためにも、影響を最小限に留めるように周知徹底を行ってまいりますので、何卒御理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、農家に対しては、ホームページや農業者団体の会議の場などにおいて、農薬の使用について次のとおり留意するよう依頼しているところです。</p> <p>○粒剤、微粒剤等の飛散が少ない形状の農薬を使用するか、液体の農薬を散布する場合は飛散低減ノズルの使用に努める。</p> <p>○農薬散布をする際は、無風または風が弱いときに行うなど、周りに影響が少ない天候や時間帯を選び、風向き、ノズルの向き等に注意する。</p> <p>○農薬散布をする際は、事前に周辺住民にわかるよう、散布日時、使用農薬の種類などを記した掲示板を設置する。</p> <p>○近隣に学校、通学路等がある場合には、子どもが農薬を浴びることのないよう、十分に注意する。</p> <p>次に、虫の生息については、河川の汚れや光害など、様々な理由で減少していると言われています。</p> <p>白井市内でも一部の地区で虫の生息が確認されており、市としましては、今後も引き続き、環境保全に努めていきたいと考えております。</p> <p>(関係課：産業振興課、環境課)</p>
------------	--

<p>件 名</p>	<p>ハザードマップを用いた防災、減災の再啓蒙について</p>
<p>内 容</p>	<p>白井市ハザードマップで想定される浸水被害、及び防災について再啓蒙を行う予定はありますでしょうか？</p> <p>7/8 現在においても九州、及び信州での豪雨、洪水被害は連日の報道の通りですが、昨年9月の台風では千葉県においても甚大な被害がありました。</p> <p>幸にして、昨年の台風における白井市の被害は少なかったと認識していますが、防災が機能したというよりは全くの偶然であると、私個人は考えております。</p> <p>そこで、現在のハザードマップを活用した形で、白井市広報紙に防災での呼びかけ記事を掲載するなどしての、再啓蒙はできないのでしょうか？</p> <p>先般の九州での洪水被害においても、ハザードマップが認識されているとは言い難く、市民防災が機能するか疑問です。</p> <p>洪水だけではなく、地震への備え、災害全般への備えについて、再啓蒙をしてください。</p> <p>東日本大震災時の対応の総括した、災害初動期 指揮心得、にはこうあります。</p> <p>『備えていたことしか、役には立たなかった。備えていただけでは、十分ではな</p>

	<p>かった。』白井市の備えは、されていると言えますか？お考えをお聞かせください。</p>
回 答	<p>市長への手紙をいただきありがとうございます。</p> <p>また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。</p> <p>お寄せいただきました市長への手紙につきまして、回答させていただきます。</p> <p>御提案いただいているとおり、近年、大規模災害が頻発しており、今後発生への恐れがある大規模災害に備え、災害リスクを適切に把握し、防災への備えや災害時の適切な行動を行うため、ハザードマップを活用した周知・啓発は、重要であると考えています。</p> <p>現在のハザードマップは、平成25年に作成し、全世帯に配布をしたもので、現在も市ホームページへの掲載、窓口配布など、様々な防災啓発の機会を捉えて周知・啓発しているところですが、国や県による地震被害想定や最大規模の洪水浸水想定等の見直しが行われていることから、市のハザードマップについても見直す必要が生じています。</p> <p>このため、今年度、新たなハザードマップの作成を進めているところであり、作成したハザードマップを市内全世帯に配布して、周知・啓発していきたいと考えています。</p> <p>また、毎年9月1日の防災の日にあわせて、広報しろいで防災に関する啓発を行っておりますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大や、九州地方における豪雨災害による甚大な被害等を踏まえ、8月15日号の広報しろいで、防災に関する啓発をすることとしています。</p> <p>なお、市では、防災対策の充実・強化を図るため、令和元年度から令和2年度の2カ年にかけて、白井市地域防災計画の見直しを進めており、大規模な災害に備えて、より実効性のある防災体制を構築し、自助・共助・公助が連携した、安心・安全に暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。</p> <p>(関係課：危機管理課)</p>

件 名	市民の足（交通の利便性向上）について
内 容	<p>西白井駅からの路線バスは、平日は22時過ぎに終わり、休日の日中は2時間来ない時間帯もあり、夜は19時台に終了、ナッシー号は休日運行すらありません。</p> <p>白井市の一番の欠点は交通の不便さであると考えております。このままでは重点プロジェクトの「若い世代の定住化」も難しく、ますます高齢者だけの街になることは目に見えております。</p> <p>今、国で推奨しているオンデマンドバス及びタクシーの導入にあたっては、国から補助金もあり、既に県内では君津市や隣の柏市が導入されているようです。</p> <p>既存のバスやタクシーだけにとらわれず、移動困難者のためのサービスや、AIによる配車制御など、様々なアイデアを講じ、今後の実施計画や、まちづくり計画に盛り込んでいただきますよう、今一度、切にお願いいたします。</p>

市長への手紙をいただきありがとうございます。

また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。

お寄せいただきました市長への手紙につきまして、回答させていただきます。

これまでの住民意識調査やタウンミーティングなどでのワークショップの結果を見ても、鉄道やバスといった公共交通の利便性の向上に対して、市民の皆さんから多くの御意見をいただいております、市の大きな課題の一つと捉えております。

さらに、公共交通を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進展、自家用車への依存などにより、利用者が減少傾向にあったことに加え、今般の新型コロナウイルスの拡大の影響から、いっそう厳しさを増してきており、サービスの縮小や低下が懸念されるとともに、公共交通の維持・確保が社会的に大きな課題となっています。

このことから、鉄道・バス・タクシーといった公共交通機関それぞれの役割分担のもとで、持続可能で利便性の高い公共交通体系が確立できるよう、市では、地域公共交通に関する計画（白井市地域公共交通網形成計画）に基づいて、先進事例の調査研究を行っているほか、学識経験者や市民、交通事業者などが参画する地域公共交通活性化協議会において、市が運行する「ナッシー号」の運行サービスの見直しなどを進めているところです。

御提案のありましたオンデマンドバスや既存のバスやタクシーだけでなく、運行サービスなどの様々な手法についても、既存の交通システムに捉われない効率的な仕組みや他市等における取組、先進事例などとして捉え、継続的に調査・研究し、地区の特性に応じた新たな解決策について模索する旨を、前述した白井市地域公共交通網形成計画に既に盛り込み努めているところです。

なお、新たな交通システムについては、どの運行形態も一長一短な特徴があり、地域の実態に即していないと、逆に利用者の減少を招いてしまったり、コストだけが増大してしまったりという事例があると聞き及んでいるところでありますので、導入にあたっては、真に白井市に適した交通サービスであるか、そのサービスが将来まで持続可能なものであるかなどを十分精査した上で、地域公共交通活性化協議会での検討を踏まえながら柔軟に対応してまいりたいと考えております。

貴重な御意見をいただきありがとうございました。

（関係課：都市計画課、企画政策課）

回 答